

## 公式競技大会における新型コロナウイルス感染症予防マニュアル

2022 年 9 月改定

一般社団法人日本ゴールボール協会  
大会実行委員会

このマニュアルは、一般社団法人日本ゴールボール協会が主催する公式競技大会において、新型コロナウイルス感染症の予防を目的に、日本スポーツ協会が定める「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を基に、ゴールボール競技の特性に合わせて定めたものです。

### 【大会前】

1. 入場者を把握する為、「来場者情報用紙」及び「体調管理チェックシート」を作成する。  
※ 「来場者情報用紙」は下記の区分毎に作成し、大会終了後 1 ヶ月間保管する。
  - ① チーム関係者（選手、コーチ、ベンチに入らない引率者等）。
  - ② 大会関係者（運営スタッフ、審判員、救護スタッフ、ボランティアスタッフ等）。
  - ③ 来賓（共催・後援団体、パートナー企業関係者等）。
  - ④ メディア関係者（プレス、メディアスタッフ等）。
2. 上記①~④の者達へは、事前に配布する「体調管理チェックシート」を記入し、大会当日に提出してもらう。チェック項目の回答によっては来場を断る可能性もある。  
※ これにより選手・コーチが来場出来ない場合でも、参加費等の返金を行わない。  
※ これによりチームとしての出場が不可となった場合は棄権とする。
3. 入場者に感染疑いや感染者が出た場合に備え、大会開催地域の保健所への相談ならびに対応方法の助言を求める。

### 【大会当日入場時】

1. 「来場者情報用紙」を元に 1 人ずつ確認を行い、「来場者証」を配布する。  
※ 大会期間中は毎日上記の確認を実施し、その日毎に「来場者証」を配布する。  
※ 「来場者証」は、大会期間中は常時着用することとし、着用が無い場合は入場不可とする。
2. アルコールによる手指消毒の実施。  
※ 会場内各所にあるアルコールにて消毒を行うこと。
3. 抗原検査の実施  
チーム関係者、大会関係者は抗原検査を行い、陽性となった者は入場不可とする。

### 【大会期間中の注意事項】

1. 入場者全員がマスクを持参し、常時着用する（マウスシールドは不可）。
  2. 常に換気を行い、ソーシャルディスタンスを確保する。
  3. 手洗い、アルコールによる手指消毒の徹底。
  4. 試合観戦は指定された場所のみとし、ソーシャルディスタンスを確保した上で、大きな声を出さないこと。
  5. 食事中は会話を控え、ソーシャルディスタンスを確保する。
  6. ゴミは必ず持ち帰ること。
  7. 体育館が定めるガイドラインを遵守すること。
  8. 大会終了後に体調不良となった場合は、必ず日本ゴールボール協会に連絡すること。
- ※ 日本ゴールボール協会事務局：[info\\_japangoalball@jgba.or.jp](mailto:info_japangoalball@jgba.or.jp)

### 【試合中】

1. 試合に関わる全ての関係者は、試合前後にアルコールによる手指消毒を行うこと。  
※ オフィシャルテーブルとベンチエリアにアルコール消毒を設置する。
2. チームとして 試合前のウォーミングアップのマスク着用は任意とする。円陣を組む場合は、体への接触を避け大きな声を出さないこと。
3. コート内の選手  
コート内でのマスクの着用は任意とする。  
※ コートの外では必ずマスクを着用すること。  
※ アイパッチ装着時はマスクを外してもよいが、出来るだけ声を出さないこと。
4. ベンチエリアのコーチ・控え選手  
ベンチエリア内においては全員マスクを着用。ただし、交代直後、ウォーミングアップ直後等、呼吸が整っていない場合等においては、呼吸が整うまで着用を強制しない。  
※ アイパッチ装着時はマスクを外してもよいが、出来るだけ声を出さないこと。
5. 審判員（レフェリー・オフィシャルスタッフ）
  - ① レフェリー  
ゴム手袋を着用。ホイッスルは、手で操作する電子ホイッスルを使用。ただし、アイシールドをチェックするとき等、選手と会話をする必要があるときはマスクを着用する。
  - ② テンセカンドタイマー  
マスクを着用。  
※選手へのアイパッチの装着は行わない。アイパッチはチーム内で行い、テンセカンドレフェリーはチェック、指導をする。
  - ③ ゴールジャッジ  
マスクとゴム手袋を着用。
  - ④ スコアラー  
マスクを着用。

⑤ タイマー

マスクを着用。

6. 運営スタッフ

全員マスクを着用。

7. 競技備品類の消毒・交換

① ボールは、各ハーフ終了後にアルコール消毒を実施。

② コートは、試合終了後に体育館が許可した方法でオリエンテーションエリアの消毒を実施する。

③ ゴールは、試合終了後にポストとクロスバーのアルコール消毒を実施。

④ レフェリーは、アイシェードチェック後にアルコール消毒を実施。

⑤ レフェリー・ゴールジャッジは、1 試合毎にゴム手袋を交換。

**【大会終了後（毎日）】**

1. コート全体を体育館が許可した方法で消毒等を実施。

2. 体育館から借用した備品（机・椅子・競技器具等）のアルコール消毒を実施。

3. 持参した備品のアルコール消毒を実施。

**【入場者に感染が疑われた場合】**

1. 大会期間中に新型コロナウイルス感染症の疑いがある入場者がいた場合は、その個人の参加を取り止め、体育館管理者に速やかに報告する。

2. 大会終了後に入場者から新型コロナウイルス感染症の疑いがあると連絡があった場合は、体育館管理者に速やかに報告する。

**【入場者が新型コロナウイルスを発症した場合】**

大会終了後、新型コロナウイルス感染症を発症した入場者がいた場合は、速やかに体育館管理者に報告をする。